

認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の方やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」があります。



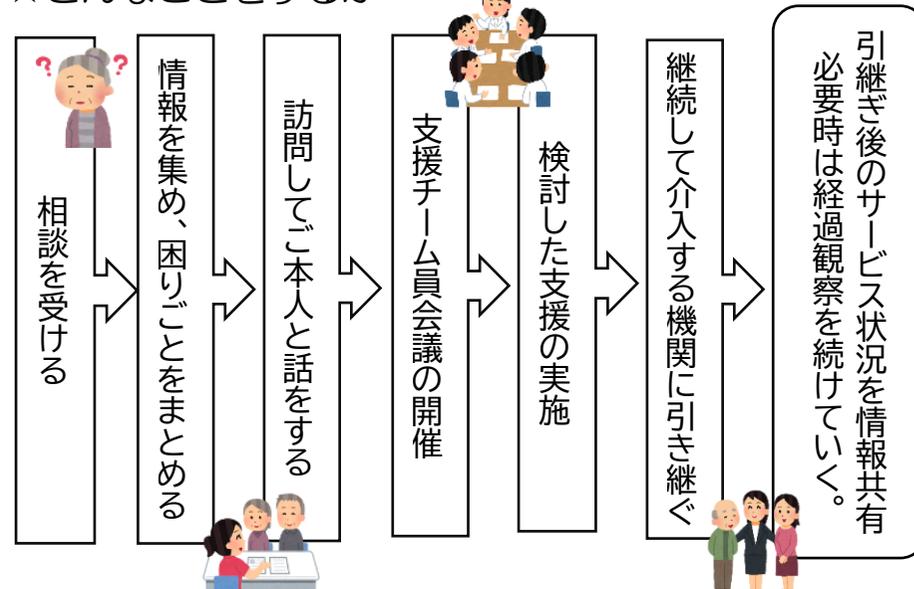
★ご利用いただける方は…

- 40歳以上で在宅生活をしており、かつ認知症が疑われる人または認知症の人で、以下の基準に当てはまる人
 - ① 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - ② 継続的な医療サービスを受けていない人
 - ③ 適切な介護保険サービスに結び付いていない人
 - ④ 診断されたが介護サービスを中断している人
 - ⑤ 医療サービス・介護サービスを受けていても症状が顕著のため苦慮している人

★ここが特徴です

- 認知症の専門医と保健・福祉の専門職が支援チームとして構成されています。
- 一定期間（おおむね6か月以内）集中的に支援します。

★どんなことをするか…



認知症は適切な診断や十分なケアが行われず進行する恐れがあります。

一人で、あるいは高齢者ご夫婦で暮らしている方は、家庭への訪問に抵抗を感じることもあるでしょう。

受診をかたくなに拒否する方も、認知症にうすうす気が付いているものの、今の生活が続けられなくなることを恐れて診断を避けている場合もあると思います。

認知症初期集中支援チームは、まさにそういった方々が、認知症と共に、今後も住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いをするためのチームです。お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】

吉見町地域包括支援センター
吉見町大字下細谷1212
☎53-0370

